

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015

全国各地の観光映像の頂点を発表！
第四回観光映像大賞に『もうひとつの京都』が決定
ゲストの本上まなみさんが来場！
特別賞には『懐かしき未来への旅 in 南砺』

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015 (SSFF & ASIA)の第四回観光映像大賞授賞式が、iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズにて行われ、大賞に京都府の『もうひとつの京都』、特別賞に富山県南砺市の『懐かしき未来への旅 in 南砺』が決定いたしました。

SSFF & ASIAでは、2012年より各都道府県で制作されている観光プロモーション映像・ビデオで、“観光振興”という観点で創造性、振興性、話題性を含んだ作品に「観光映像大賞(観光庁長官賞)」を授与してきました。

大賞の『もうひとつの京都』は、京都の自然や街並みの美しさを、本上まなみさんが妻を演じる1組の夫婦の関係性ととも表現した作品です。音楽には、世界的に有名な葉加瀬太郎さんの音楽を使用しており、壮大な世界観が楽しめます。特別賞の『懐かしき未来への旅 in 南砺』は、プロのフォトジャーナリストを目指していた主人公が南砺に行き、自らを見つめ直す心の旅に出かけるお話です。

授賞式では、『もうひとつの京都』から京都府広報課まゆまる、田吹佑輔監督、主演の岡部尚さん、本上まなみさんらが来場し『懐かしき未来への旅 in 南砺』からは、南砺市ブランドマーク“NANTOKUN”、林弘樹監督、主演の石井あす香さん、なんと幸せのおすそわけキャンペーン実行委員会委員長の川合声一さんが来場し、会場を盛り上げました。

大賞作品を含むエントリー562作品は、旅が始まるきっかけサイト旅もじゃサイトでご覧になれます。

<http://www.tabimoja.com/>



第四回観光映像大賞授賞式の模様

【本発表に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局(ユース・プランニング センター内)

担当:白岩(070-6469-1245)・音部(090-2316-7879) TEL: 03-3486-0575 / FAX: 03-3499-0958

e-mail : ssffasia2015@yppcr.com

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】

担当:高橋(090-3049-1284) 加賀矢間 TEL:03-5474-8201 / FAX:03-5474-8202

e-mail : press@shortshorts.org



【観光映像大賞(観光庁長官賞)】

『もうひとつの京都』(①お茶の京都篇②森の京都篇③海の京都篇)

監督:田吹佑輔 / 京都府 / 12:01 / フィクション・ドラマ / 2014

古都京都とはひと味違う京都の魅力を表現。茶畑が広がる府南部エリアの「お茶の京都」、美山かやぶきの里など里山の風景を残す中部エリアの「森の京都」、天橋立など美しい景観が楽しめる北部エリアの「海の京都」を葉加瀬太郎さんの音楽に乗せてお届けします。



『懐かしき未来への旅 in 南砺』

監督:林弘樹 / 富山県南砺市 / 7:26 / フィクション・ドラマ / 2014

プロのフォトジャーナリストを目指していた香織が南砺に行き、自らを見つめ直す心の旅に出かける。1ターンで南砺に移り住んだ結と久しぶりに再会し、まちを案内してもらおう。南砺でのゆったりとした時間の中で、香織が気づいたことは...

映像の力で地域の魅力を伝える！観光映像大賞作品上映会を開催したい！

旅が始まるきっかけサイト「旅もじゃ」は、地域貢献・地元応援型のクラウドファンディングサイト「FAAVO」とコラボレーションし、『旅もじゃ×FAAVO上映会ファンディング』をスタートいたします。このファンドの目的は、映像を通して東京の若者たちに他の地域の魅力と、観光促進のツールとして映像の有用性を伝え、国内観光を促進させることです。また観光振興に興味を持つ若者たちの交流の場を創出することです。

今回私達は、映像の力で地域の魅力をより多くの方々に伝えたいと考え、観光映像上映会を企画しています。今回の企画で上映する映画は、ショートショートフィルムフェスティバル2015で観光映像大賞を受賞した作品を上映していきます！映像を通じた地域の魅力をより多くの方々に伝えたいと考えています。

近年若者の旅行離れが指摘される中、これからの観光振興を拡大させるためにも、若い人に地域の魅力を伝えることが大切と考えています。今回の企画は、これからの観光活性に不可欠な若者に向けて開催することで、彼らが日本の魅力に気づくこと、そしてイベントを通じて観光促進の交流を図ってもらうことを目指しています。

詳細はFAAVO公式webサイトにてご確認ください。

<https://faavo.jp/tokyo23/project/641>

■上映予定作品

『もうひとつの京都』

- (1) お茶の京都篇
- (2) 森の京都篇
- (3) 海の京都篇(京都府)

※他の上映作品も今後どんどん追加予定です。

■上映日時・場所

11月開催予定

■ゲスト

旅が始まるきっかけサイト「旅もじゃ」公式キャラクター“もじゃ”
その他上映作品に関連したゲストスピーカーもお呼びし、「映像を使った観光プロモーションの重要性(仮)」についてもお話しいたできます。

■旅もじゃとは？

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア内の「観光映像大賞」の応募作品をはじめとするご当地プロモーション映像をメインコンテンツに、全国各地の旅先で撮られた動画や写真を一般の方が投稿できる参加型の旅総合情報サイト。

<http://www.tabimoja.com/>

■もじゃ(「旅もじゃ」オリジナルキャラクター)

日本のどこかで誕生した謎の生き物“もじゃ”。
旅することはもちろん旅先の魅力を見つけることが大好きで、その自慢の赤い鼻で地域の魅力をくくん嗅ぎつけます。見つけた魅力は旅が始まるきっかけサイト「旅もじゃ」で紹介！旅で日本を元気にすべく、全国各地に出発していきます。



「旅もじゃ」オリジナルキャラクター“もじゃ”
©Pacific Voice / Designed by RaNa

■各会場における開催期間

<東京会場>

表参道ヒルズ スペース オー	6月4日(木) オープニングセレモニー
	6月5日(金)～6月7日(日)
シダックス・カルチャーホール	6月5日(金)～6月7日(日)、6月11日(木)～6月14日(日)
アンダーズ 東京 アンダーズ スタジオ	6月8日(月)～6月12日(金)
ラフォーレミュージアム原宿	6月11日(木)～6月14日(日)
iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ	6月12日(金)～6月14日(日)
渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA	6月15日(月) アワードセレモニー(授賞式)

<横浜会場>

ブリリア ショートショート シアター	6月5日(金)～6月14日(日) (横浜開催)
--------------------	-------------------------

※上映期間は6月4日(木)～6月14日(日)です。上映会場は(渋谷ヒカリエを除く)東京5会場、横浜1会場となります。

※オープニングセレモニー、アワードセレモニーは一般の方は参加できません。

		表参道ヒルズ スペース オー	シダックス・カル チャーホール	アンダーズ 東京 Andaz Studio	ラフォーレ ミュージアム原宿	iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ	ブリリア ショートショート シアター	渋谷ヒカリエ ヒカリエホールA
6月4日	木	★ オープニング セレモニー						
6月5日	金	●	●				●	
6月6日	土	●	●				●	
6月7日	日	●	●				●	
6月8日	月			●			●	
6月9日	火			●			●	
6月10日	水			●			●	
6月11日	木		●	●	●		●	
6月12日	金		●	●	●	●	●	
6月13日	土		●		●	●	●	
6月14日	日		●		●	●	●	
6月15日	月							★ アワード セレモニー (授賞式)

■一部の有料イベントを除き、東京会場、横浜会場ともに無料上映となります。

※事前予約はオフィシャルサイトから登録が可能です。

※上映プログラム・イベントは決定次第、順次オフィシャルサイトにアップします。

■東京会場限定 スペシャルパスポート

4,000円(映画祭オリジナルグッズ付)

下記東京3会場の有料イベント以外の全てのプログラムを事前予約・回数制限なくご覧いただけます。

(表参道ヒルズ スペース オー、ラフォーレミュージアム原宿、iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ) チケット販売はオンラインにて受け付けます。詳細は映画祭オフィシャルサイトをご確認ください。

※キャンセルによる払い戻しの手数料はお客様負担になりますので、予めご了承ください。

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジアについて

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創業者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スター・ウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から同年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催:東京都)」が誕生し、現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として開催されています。上映内容は、オフィシャルコンペティションをはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、様々なカテゴリーのプログラムで構成されています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員。日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げるとともに、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭は応援していきます。